

8月20日(月)から
予約受け付け

同性パートナーシップ 宣誓制度はじまる



現在の日本では、まだ法律上の制度として同性婚が認められていません。その中で中野区では、区内在住あるいは転居予定の同性カップルが要件を満たせば、「パートナーシップ」にあることを区長に宣誓し、区が受領証を発行する取り組みを始めました。23区では渋谷区、世田谷区に次ぐ取り組みです。

この受領証は、法律上の権利義務などを発生させるものではありませんが、住宅の賃貸契約や病院での病状説明等の場面で、二人の関係を説明する負担が軽減されたり、二人の関係を確認したりする上で便宜が図られることが期待されています。



■ 宣誓ができる方

- ・ パートナーシップにある
- ・ 20歳以上
- ・ 中野区内の同一住所地に居住している。またはその予定がある
- ・ 配偶者がいない。宣誓しようとする相手の他にパートナーシップにある人がいない
- ・ 宣誓しようとする人同士が近親者でない

■ 予約方法

宣誓を希望する方は電話またはFAX、電子メールで人権・男女共同参画担当へ
TEL : 3228-8229
FAX : 3228-8860
MAIL : danjosenta@city.tokyo-nakano.lg.jp

踏切渋滞の解消を!

8月28日に野方WIZで行われた西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会に参加しました。大会決議文には連続立体交差事業の着実な推進、早期実現の働きかけが盛り込まれました。

中野区内にある20か所の踏切のうち、18か所が開かずの踏切※になっています。踏切渋滞をなくし、より良い住環境を実現するため、区内全線地下化を実現するため頑張ります。

※開かずの踏切：ピーク時の遮断時間が1時間あたり40分以上になる踏切



今年の決起大会の様子

2018年第2回定例会日誌

- ①6月27日/本会議 酒井新区長が施政方針説明行方。傍聴者があふれ1階ロビーのモニターで傍聴する方も。
- ②6月29日/本会議 長沢議員が質問。子育て施策、震災対策、平和問題で前向き答弁。詳しくは2ページへ。
- ③7月2日/本会議 いさ議員が質問。公契約条例制定をめざす旨の初めての答弁。
- ④7月5日/子ども文教委員会 仲町保育園、大和東保育園の民営化事業者募集の一時中断方針が示される。
- ⑤7月13日/本会議 党区議団が提案した「旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書」が全会一致で可決される。

第3回定例会では
本会議質問に羽鳥が立つ予定です。
詳しい日程はお問い合わせください。

相談・ご意見お待ちしております



生活のこと、地域のこと、
なんでもご相談ください
「はばたき通信」へのご意見お待ちしております。
議員団控室／電話：3228-8873
FAX：3389-8657
携帯電話：090-4607-7889

羽鳥だいつの 日々雑感

課題に向き合う真摯さに心打たれる

高校野球では全力で頑張る球児に目を細める方はたくさんいるのではないのでしょうか。クラシックバレエが題材のこの作品の主人公である有谷奏は自分を成長させることにとにかく貪欲。その「より良いダンサーになりたい」という思いから全身全霊で頑張る姿に狂気を感じつつ心から彼女を応援してしまいます。



Cuvie
「純爛たるグランドセーヌ」

★このコラムでは、地域のこと、私のことなど、雑多な中身をご紹介していきたいと思っています。

議員団控室 住所：中野区中野4-8-1 電話：3228-8873 FAX：3389-8657 自宅：中野区鷺宮5-14-4みのる荘201

はばたき通信 第22号 発行日：2018年9月1日

日本共産党中野区議会議員 あなたの声を、区政に活かす

羽鳥だいつの区政報告 No. 22
2018年9月号

はばたき通信



●メールアドレス
hatoridaisuke89@yahoo.co.jp
●自宅
TEL/FAX: 03-6677-7404
●区議会控室
TEL: 03-3228-8873
FAX: 03-3389-8657
●ホームページ
羽鳥だいつ WEB検索
ツイッター、フェイスブックも
やっています!

区民参加の区政へ転換

6月10日に中野区長選挙が行われました。この選挙では幅広い区民と政党・議員（共産・立民・生ネ・無所属）が「区民の声を聴く中野区政を実現させる会」（区民の声・中野）に結集し、酒井直人氏と政策協定を締結。現職に9千票近い差をつけて勝利しました。

酒井区長は施政方針説明で「今回の区長選挙は、

政策決定過程での区民参加のあり方が問われた選挙」だったと述べ、区民の区政への参加が進むよう努力していく方向性を示しました。

区長選で大きな争点となっていた事柄を中心に少しずつ区政が変わり始めています。日本共産党区議団は区民参加の区政実現のため全力で奮闘します。

区民の声を受け、区政が変わり始めています

	前区長	酒井区長
平和の森公園	300メートルトラック、体育館建設、樹木伐採、バーベキュー場設置	方針見直し、複数案を提示し、「再整備を語る会」で議論する
哲学堂公園	観光拠点化、児童遊園潰して学習展示施設建設	観光拠点化の方針見直し、再検討する
児童館	全館廃止	機能拡充しつつ一定数残す、施設数は今後検討する
区立保育園	全園民営化	一定数残す、施設数は今後検討する
区立幼稚園	廃止民営化	存続する
サンプラザ	撤去し、1万人アリーナ建設	方針見直し、区民参加の検討会で今後を議論
平和首長会議※	参加しない (23区では中野区のみ)	加盟し、「ヒバクシャ国際署名※」も行う ※ヒバクシャ国際署名：すみやかな核兵器廃絶とすべての国が核兵器禁止条約を結ぶことを求める署名

同時に、残していく児童館や区立保育園の施設数は検討課題とされており、今あるものをすべて残す方針とはなっていません。今後ますます区民の声を届けていくことが重要になっていきます。

区民要求に応え、 区政を動かす党区議団の論戦

第2回定例会では、酒井新区長の施政方針説明で新しい区政の方向が示されましたが、共産党区議団への答弁でもさまざまな課題で前進が見られました

「子育て先進区・中野」へ 大きな一歩

●子どもの権利条例制定へ

党区議団は、条例の考え方や制定に向けた方法について質しました。子どもの人権侵害に関する相談や救済申し立てにかかる制度の構築についても提案しました。

●子どもの貧困に対する実態調査の実施へ

党区議団が一貫して求めてきた「子どもの貧困に対する実態調査」について、「具体的な調査方法等について、研究、検討」する旨の答弁を引き出しました。

●学童クラブ保育料の減免実施へ

学童クラブ在籍児童の第2子以降に対する保育料軽減措置を求め、「半額程度の制度創設を検討中」と答弁がありました。また学童クラブの待機児童の解消についても質しました。



震災対策に朗報

- 23区で唯一実施していなかった木造住宅の耐震補強工事助成
- 通学路を含む狭あい道路のブロック塀等への支援制度
- 感震ブレーカーの普及促進策、特に高齢者・障害者のみ世帯への普及策
- 家具転倒防止器具の取付け助成の普及ための利用しやすい助成制度



実施に向けて検討へ

核兵器廃絶にむけ 平和首長会議に参加へ

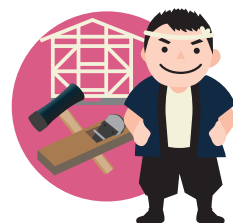
党区議団が本会議で繰り返し求めてきた平和首長会議への加盟は、新区長のもとで参加が表明されました。また新区長は、被爆者団体等が望んできた「ヒバクシャ国際署名」にも署名しました。



中小企業、下請け労働者の 育成・保護へ前進

●公契約条例制定へ

党区議団が繰り返してきた条例制定について、新区長の下で「制定に向け検討する」と初めて答弁がありました。労働者の生活と健康を守り、公共工事の質を守るために実現が求められています。



●重層下請けの実態調査へ

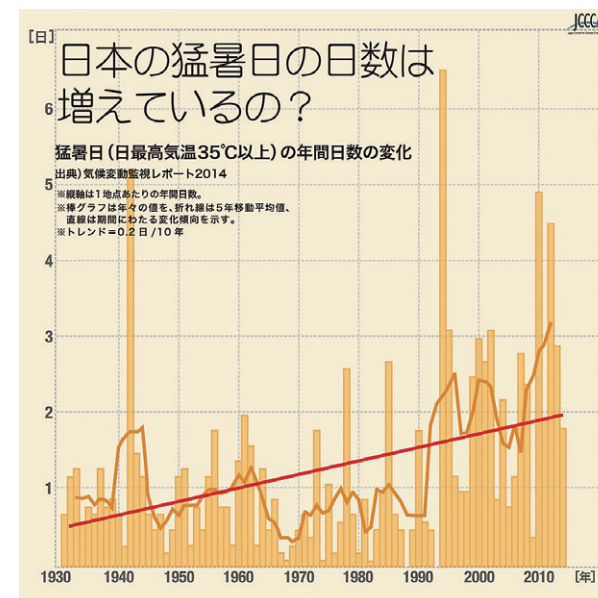
中野区では現在、下請事業者の社会保険加入状況を把握していますが、現場労働者の賃金などについては把握できていません。党区議団の「実態把握すべき」との求めに、「実態把握するための調査方法について検討する」と答弁がありました。

今年の夏の暑さを考える



気象庁が「1つの災害」とまで表現した今年の暑さ。中野区でも6月からの3か月間で真夏日は43日、猛暑日も21日にもなりました（8月31日時点）。区内で熱中症により救急搬送された方は昨年の2倍の134人に上っています。地球温暖化が進行している中、今後ますます暑さは厳しくなっていくことが予測されています。CO₂削減など温暖化対策への真剣な取り組みが求められています。

図：猛暑日の日数は増え続けている



出典：気象庁「気候変動監視レポート2017」 引用：JCCCAホームページより

猛暑にエアコンを

荒川区では今年、エアコンを持っていない高齢者のみの世帯等を対象にエアコン購入費用を5万円まで助成する制度を実施しました。命を守るための大事な施策です。韓国ではこの猛暑を受け、政府が電気料金の値下げを行い、冷房を使いやすくしています。日本でも実施してほしいものですね。

中野区内の小中学校の冷房化状況

この猛暑で学校の冷房化実施が改めて注目されています。中野区では普通教室は100%実施。特別教室でも未実施はごくわずかです。しかし、体育館の冷房化はまだ残されています。災害時の避難場所として使われることも考えれば、冷房取り付けが求められています。

表：冷房取り付け未実施校（鷺宮地域）

普通教室	なし
特別教室	上鷺宮小、西中野小、北中野中
体育館	上鷺宮小、鷺宮小、西中野小、美鳩小、北中野中

西日本豪雨救援募金を 実施しています

200名以上の方が亡くなった西日本豪雨災害。今なお、多くの方が元の生活に戻れないでいます。日本共産党ではこの豪雨災害に対して、救援募金の取り組みを開始しました。お寄せいただいた募金は被災自治体にお届けします。



地元鷺ノ宮駅でも取り組んでいます

東中野駅で募金に取り組む議員団

県外への視察を 行いました

議員団では他自治体の取り組みを学ぶため、鹿児島市の子育て支援施設「りぼんかん」と、熊本地震後の避難所運営などを学ぶために熊本市に視察に伺いました。



「りぼんかん」で職員の説明を聞く（写真上）。子どもを遊ばせながら職員と相談できる「りぼんかん」面談室（写真中）。熊本市役所で当時の様子を聞く（写真下）